

令和5年度 1年1組 3学期の学級経営の反省

【学級目標】 なんでもちょうせん あいてのことをかんがえる



いいこといっぱい 1ねん1くみ

1 学習

- ◎ 落ち着いた態度で、集中して学習に取り組むことができてきた。
→ 手遊びや私語はゼロではない。「何をする時間なのか」、引き続き指導。
- ◎ 進んで挙手し、間違いを恐れずに発表する子が増えた。
→ 「間違いは自分の成長につながる」「失敗から学ぶ」
- ◎ 国語では、音読や文字を書く力が高まった。音読は、すべての教科につながる基本。書くことも同じ。「丁寧に速く」を意識させて、コツコツ努力を続ける。
算数では、たし算・ひき算を計算するスピードがついてきた。パッと式を見て答えを言えるまで、繰り返し練習する。覚えたことを忘れないように、続けることが大切。
- 国語の課題・・・「読み取る力」「自分の考えを書く力」
文章に書かれていることを、理解しながら読む。登場人物の気持ちや様子を考えながら読む、問いと答えの文に気をつけて読む、など。
「は」「を」「へ」の使い方、拗音や促音、習った漢字を使う、会話文、主述を整えて書く、普段の日記で、相手意識を持たせて書かせる。書いた文章を、自分で読み直す。
- 算数の課題・・・「文章問題からの立式」
計算はできるが、文章問題を読んで、立式するのが難しい。簡単な図に書く、何を問われているのかをじっくり考える。
ケアレスミスをなくすための「見直し」を丁寧に習慣。
- 学習用具やプリントの整理整頓、忘れ物の有無に個人差が出てきた。
→ まだまだ保護者の助けが必要な部分。「できるようになるまで根気強く見届ける！」

2 生活・保健面

- ◎ 朝の体力作りに進んで取り組む子が増えた。長縄跳び練習を頑張っていた。
→ 登校時間が遅くなり、準備が間に合わないと参加できない。余裕を持って登校する。
- ◎ 苦手な食材にも自分から挑戦し、完食できる子が増えた。
→ 食事のマナーに気をつける。箸の持ち方、茶碗を持って食べる等。
- 友達へのちょっかいや些細な言葉から、争いやふざけ合いになることがある。
→ 相手が傷つく言動は、頭では分かっているけど、「自分が楽しいから」と自分本位な考えから、ついやってしまう。自分の言動が、相手にとってどうだったのか、まわりの人に迷惑をかけていないか、その都度考えさせたい。「～～して、ごめんなさい。」「～～してくれて、ありがとう。」など、言葉で友達とコミュニケーションが取れる子どもを育てていきたい。

入学した4月が、ついこの前のように感じるほど、あっという間の1年でした。子どもたちは、教室で友達と一緒に過ごす中で、多くのことを学び、心も体も見違えるほどたくましく成長しました。元気いっぱい、明るく素直で優しい1年1組の子どもたち。きっと来年は、かっこいい2年生として、新1年生をリードしてくれることでしょう。

保護者の皆さん、毎日の見届けやサポート、ありがとうございました。残り少ない1年生ですが、充実した毎日になるように、最後まで御協力をお願い致します。

1年1組担任

井上 雅代